

保護者の皆さまへ

吹田市立 第六中学校
校長 岡本 紀子

令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表すると聞いています。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学に限られています。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法へと工夫改善にも取り組んでまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査結果の分析

- 国語・・・「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域については、全国値を上回り、「話すこと・聞くこと」の領域については、全国値をやや下まわっている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

話すこと・聞くこと

- ・「話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」「質問の意図を捉える」ことについては、無回答率も高く課題がある。

書くこと

- ・全ての設問で全国値を上回った。しかし同時に無回答率が高く課題が残る。

読むこと

- ・全国値を上回り、文章全体の内容を読み取れてはいるものの、自分の考えをもつことには課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・全ての設問で全国値を大きく上回り、無回答率も低い良好な結果であった。

国語における成果と今後の改善点について

言語についての知識・理解・技能については、日常的な小テストをはじめとする反復学習による定着がうかがえる。相手の意図を捉え、自分の考えを持ち、それを相手に伝えることに課題である為、今後は国語への関心を高め、意欲をもって主体的に学習に取り組む態度を育成することに努めます。

- 数学・・・全ての領域で全国値を上回り、良好な結果でした。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と式

- ・基本的な計算等については全項目で全国値を上回り、基礎的な力の定着がみられる。

図形

- ・全項目で全国値を上回る結果となり、概ね良くできている。「ある条件下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる」項目においては他の問題と比べると正答率が低く無回答率も高い。

関数

- ・全体的には全国値を上回っているが、「関数の意味を理解している」の項目は全国値を下回った。

資料の活用

- ・「データの傾向を的確に捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明する」趣旨の設問については、全国値を下回り無答率も高かった。

数学における成果と今後の改善点について

どの領域においても全国値と比べて正答率が高く良好な結果だった。しかし、記述式の問題や数学的な見方や考え方を言葉にして説明したり、文章で表したりすることに課題が見られた。少人数の授業を活用して改善を図ります。

2 質問紙調査の結果について

【基本的な生活習慣について】

決まった時間に起床・就寝していると回答した生徒がほとんどである。朝食も9割以上の生徒が毎日とっている。

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感など】

肯定的な回答をする生徒の割合は全国値とほぼ同数であるが、「どちらかといえば」という不確かな肯定で回答する生徒の割合が全国よりも多い。

【学習習慣、学習環境について】

自分で計画を立てて勉強をする割合は全国と同じ傾向がある。平日に学習する時間は、全国値を上回っているが、土日の学習時間は全国よりも少ない。また、普段読書や新聞を全く読まない生徒の割合が全国値を上回っている。

ICTを使った授業については、1,2年の時は全国とほぼ同じであった。現状については、全国値を下回っている。

【授業について】

授業の中で自分の考えを発表する場面や、話し合いの場面で自分の考えを伝えたり、相手の話の内容を理解したりといった主体的・対話的で深い学びができていたかについては全国値を上回っていた。

【新型コロナウイルス感染症の影響について】

学校休業で勉強に不安を感じていた生徒の割合は全国値を上回った。学校休業中は規則正しい生活を送っていた生徒の割合は全国値を上回ったが、計画的に学習した生徒の割合は全国値を下回った。

3 今後の取り組み

基本的な知識の習得は概ねできています。そのため、日々の授業における生徒の主体的・対話的な学びから深い学びの実現を目指します。

ご家庭の協力により確立している基本的な生活習慣（朝食摂取・決まった時間の起床就寝）のように、現在ちぐはぐ（学習時間は少なくないが計画的には行えていない）となっているか家庭学習については、計画的・効率的に行い学力の向上につなげてまいります。

また、本校だけではありませんが「読書をしない」「新聞を読まない」といったいわゆる活字離れについては、読解力や知識の量の低下につながります。「読む」という活動は単に言語力を身につけるだけではなく、情緒や論理的思考力を育てることに有益です。朝読書の継続と図書館の蔵書の充実に努めます。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしく申し上げます。